

## 指導者養成講座 初級編 2020年度プログラム事例

■ねらい：本講座では「参加型学習（アクティブ・ラーニング）」を通して世界の現状を知り、各教科・領域の授業の中でSDGsとつなげながら実践することのできる指導者の養成を目指す。

■日時：●月●日（ ）10:00～17:00

■場所：JICA 沖縄 体育館

■参加者：約25名

時間	内容	準備物	担当者
08:15	スタッフ集合		
9:30～ (30分)	<b>受付</b> ・ランチ代支払 ・配布物 ・教材閲覧タイム	<input type="checkbox"/> 名札 <input type="checkbox"/> マジック <input type="checkbox"/> 配布物	ONC
10:00～10:15 (15分)	<b>案内説明・アイスブレイク</b> (ONC自己紹介、会場説明、講座のねらい、教材販売について)		ONC
10:15～10:20 (5分)	<b>開講式</b> JICA 沖縄課長あいさつ		JICA 沖縄市民参加協力課課長
10:20～11:40 (80分)	<b>ワークショップ①「世界がもし100人村だったら」</b> 講師：指導者養成講座過年度参加教諭		講師（講座過年度参加教諭） ONC
11:40～12:50 (70分)	<b>ランチ</b>		ONC
12:50～13:40 (50分)	<b>開発教育、SDGsについて</b>	<input type="checkbox"/> PC	ONC
13:40～13:50 (10分)	<b>多目的室に移動・準備</b>		
13:50～15:00 (70分)	<b>ワークショップ② 多目的「パーム油のはなし」</b> 講師：県立高校教諭	<b>ワークショップ③「地球の食卓」</b> 講師：県立高校教諭	講師（県立高校教諭） 講師（県立高校教諭） ONC
15:00～15:10 (10分)	<b>体育館へ移動</b>		
15:10～15:40 (30分)	<b>午後ワークショップ共有・全体ふりかえり・質疑応答</b> ・質疑応答		ONC
15:40～16:00 (20分)	<b>次回について・アンケート記入・教材購入</b>		ONC
16:00～17:00	<b>教員同士のネットワーク作り・片付け</b>		

## 初級編第2回目日程

■ねらい：第2回目では、これまでの講座参加実践例を紹介し、今後の実践に向けて自身のテーマ決めを行う。

■日時：●月●日（ ）10:00～16:00

■場所：JICA 沖縄（体育館）

時間	内容	準備	担当者
8:00	スタッフ集合・会場設置（教材コーナー、受付、PC機器確認、配布物セッティング）		
9:00	スタッフ最終打合せ		

9:30～ (30分)	受付（体温チェック、ランチ支払い）	<input type="checkbox"/> 名札 <input type="checkbox"/> 名簿 <input type="checkbox"/> 配布物 <input type="checkbox"/> BGM	体温チェック： 名前・ランチ代支払い：明
10:00～10:05 (5分)	はじめのあいさつ（配布資料等確認）		
10:05～10:15 (10分)	アイスブレイク		
10:15～10:25 (10分)	・前回のふりかえり（感想コメント共有、講師からの追加回答） / 本日の流れ確認		進行：ONC
10:25～11:15 (50分)	過去実践者の教材紹介①		講師：県立高校教諭
11:15～11:20 (5分)	休憩		
11:20～12:10 (50分)	過去実践者の教材紹介②		講師：県立学校教諭
12:10～12:55 (45分)	参加者同士意見交換・教材素材決め ① 取り組みたいテーマを書き出して似たもの同士グループ作って話し合い、情報交換		進行：ONC 講師：県立学校教諭
12:55～14:00 (65分)	昼食 *12:30～教材販売		ランチ代支払い：明
14:00～15:00 (60分)	SDGsを学校での取り組み、授業作りのポイント これまで実践されてきたワークショップを取り入れながら紹介。 ・学校目標や教科目標とSDGsのつながり ・授業づくりの視点	<input type="checkbox"/> JICA 図書館の本 <input type="checkbox"/> ONCのSDGs本	進行：ONC 講師：県立学校教諭
15:00～15:30 (30分)	授業テーマについて決定・簡単な流れ作り	<input type="checkbox"/> ワークシート	進行：ONC 講師：県立学校教諭
15:30～15:40 (10分)	休憩	<input type="checkbox"/> 作成した案の資料コピー	
15:40～16:00 (20分)	ふりかえり ・各グループのテーマ共有・明日について・アンケート ・教材販売案内		進行：ONC
16:00～17:30 (90分)	教材販売・片付け・スタッフふりかえり		

### 初級編第3回目日程

■ねらい：本講座では「参加型学習（アクティブ・ラーニング）」を通して世界の現状を知り、各教科・領域の授業の中で実践することのできる指導者の養成を目指す。

■日時：●月●日（ ）10:00～15:00

■場所：JICA 沖縄（体育館）

時間	内容	準備	担当者
8:00	スタッフ集合・会場設置（教材コーナー、受付、PC機器確認、配布物セッティング）		
9:00	スタッフ最終打合せ		

9:30～ (30分)	受付(体温チェック、ランチ支払い)	<input type="checkbox"/> 名札 <input type="checkbox"/> 名簿 <input type="checkbox"/> 配布物 <input type="checkbox"/> BGM	体温チェック： 名前・ランチ代支払い：
10:00～10:05 (5分)	はじめのあいさつ(配布資料等確認)		
10:05～10:15 (10分)	アイスブレイク		
10:15～10:25 (10分)	・昨日のふりかえり(感想、取り組む教材共有) / 本日の流れ確認		ONC
10:25～11:05 (40分)	JICA 沖縄事業紹介 沖縄発国際協力の事例紹介・開発教育メニュー紹介		JICA 沖縄
11:05～11:10 (5分)	休憩		
11:10～11:40 (50分)	教材作成 グループに分かれて各自	<input type="checkbox"/> JICA 図書館の本 <input type="checkbox"/> 白紙等配布	フォロー：県立学校教諭、ONC
11:40～12:45 (65分)	昼食		
12:45～14:00 (75分)	教材作成		参加者フォロー：県立学校教諭、ONC
14:00～14:10 (10分)	休憩		
14:10～14:45 (35分)	教材共有		参加者フォロー：県立学校教諭、ONC
14:45～15:00 (15分)	ふりかえり ・次回について、中上級編案内 ・アンケート		ONC
15:00～16:00 (60分)	教材販売・片付け		
16:00～16:20 (20分)	スタッフふりかえり		

## 初級編第4回目日程

■ねらい：本講座では「参加型学習(アクティブ・ラーニング)」を通して世界の現状を知り、各教科・領域の授業の中で実践することのできる指導者の養成を目指す。

■日時：●月●日( ) 10:00～16:00

■場所：JICA 沖縄 ニライホール3F 多目的ルーム

時間	内容	準備	担当者
08:30	スタッフ集合 会場設営、機器動作確認、SDGs本(JICA図書館)		
9:30～ (30分)	受付 ・配布物 ・教材予約受付	多目的室 <input type="checkbox"/> 名札 <input type="checkbox"/> 名簿 <input type="checkbox"/> 配布物	受付：ONC



10:00~10:05 (5分)	<b>開講式</b> JICA 沖縄より挨拶		JICA 沖縄
10:05~10:15 (10分)	<b>本日の流れ確認</b> <b>実践共有説明（発表者5名）</b>		ONC（
10:15~12:55 (160分)	<b>実践共有とふりかえり</b> ・一人30分程度発表 ・各発表者へコメント（付箋紙3色）、共有 ・講師からのコメント、アドバイス ※途中換気のため休憩入れる（10分）		実践者5名 講師：県立学校教諭、ONC
12:50~14:00 (70分)	<b>ランチ会場へ移動・昼食</b>		
14:00~15:00 (60分)	<b>実践ワークショップ「プラスチックゴミ」</b> ※開発教育協会の新教材		ONC
15:00~15:10 (10分)	<b>換気休憩</b>		
15:10~15:40 (25分)	<b>指導者養成講座初級編の内容について意見交換</b>		ONC
15:40~16:00 (20分)	<b>ふりかえり・閉講式</b> ・アンケート	□アンケート用紙	JICA 沖縄 ONC
16:00~16:30	<b>教材販売</b>		教材販売：ONC
16:30~17:30	<b>片付け・スタッフふりかえり</b>		

## 指導者養成講座 中上級編 2020年度プログラム事例

テーマ：「対立から学ぼう お互いを思いやるコミュニケーション」

自己理解・他者理解・対立解決・コミュニケーション・自己肯定感（セルフエスティーム）

ねらい：開発問題を考えるうえでも、よりよい人間関係を育むうえでも、相手の気持ちやニーズを理解することは大切で、その土台がなければ、話し合いも十分に行えません。

普段みなさんが接する児童・生徒、同僚、上司等、かれらのニーズを理解するとともに、自分のニーズについても振り返ってみましょう。

様々な対立から新たな解決策が見いだせるかもしれません！

## ＜目的＞

## 1日目

- ・自分のニーズや気持ち、相手のニーズや気持ちについて考える
- ・自分の問題を分析する
- ・他者とよりよい関係をつくるための解決方法を考える。

時間	アクティビティ	内容	備品	備考
10:00	開会式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JICA 課長あいさつ</li> <li>・ 2日間の流れ説明</li> </ul>		
10:10	I. オープニング・自己紹介 (30分)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 4~5人グループになる</li> <li>2) 講師紹介・今日の流れの確認</li> <li>3) 自己紹介 (4つの窓 名前・所属・最近あったうれしかったこと・今日の期待)</li> <li>4) 約束を考える (みんなが安心して参加するためのルール)</li> <li>5) 流れの確認</li> </ol>	A4用紙、マジック、A3用紙	
10:40	II. 気持ちとニーズ (50分)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 気持ちビンゴ (10分)            &lt;目的&gt;            様々な自分の気持ちに気づく            ・ビンゴをして気づいたこと            ・聞かれてすぐに答えられた気持ちと、難しかった気持ち？            ・同じうれしいでも、いろいろなレベルのうれしい、がある。            ・今日のテーマ、対立につながる気持ちは、どれでしょう？            ・気持ちは目には見えないけど、気持ちに気づくのは自分のニーズに気づくこと、いろいろな気持ちを持つことは、とても自然なこと</li> <li>2) 気持ちとニーズ (30分)            ・怒りの火山の説明            満たされていないニーズについて説明            ・「気持ちとニーズ」に自分の最近イラっとした経験を書き、気持ちとニーズを書き込む            →ニーズは「〇〇してほしい」→「〇〇してもらうとどのニーズが満たされるのか」を考える。            ・3人組で共有            ・気づいたことを共有            →自分のニーズに気づいてどう感じたか？相手のニ</li> </ol>	模造紙、付箋紙、マジック	

		ズを見てどう感じるか。 ・教室で出会う子どもたちのニーズはどんなものが多いのか？ ・自分が対立している相手もニーズを持っていることに気づく																				
11:30	Ⅲ. 対立のロールプレイ 前半 (50分)	1) 4人組になる 2) 例を出す 教師A、Bのロールプレイ (40分) ・A同士、B同士で役割を理解する。 ・1回目で、二人がロールプレイし、残る二人は観察する。 ・気付いたことをフィードバック ・2回目で次のペアがロールプレイし、残る二人が観察する。 ・お互いにフィードバックする	ロールカード																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>A 教師</th> <th></th> <th>B 教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語圏以外文化の授業をしたい</td> <td>対立点</td> <td>教科書と関係ないことはしないでほしい</td> </tr> <tr> <td>悲しい、苦しい、さみしい</td> <td>気持ち</td> <td>緊張、心配、イライラ</td> </tr> <tr> <td>理解してほしい、認めてほしい</td> <td>ニーズ</td> <td>理解してほしい、認めてほしい、尊重してほしい、失敗したくない</td> </tr> <tr> <td>Aさんが理解され、Bさんが安心するために</td> <td>再定義</td> <td>Bさんが理解され、Aさんの意図が理解される</td> </tr> <tr> <td>Aさんの授業をみんなに見てもらおう、生徒に聞く、Bさんの授業と融合する、お互いに対話する</td> <td>解決策</td> <td>Bさんのプレッシャーを共有する、</td> </tr> </tbody> </table>	A 教師		B 教師	英語圏以外文化の授業をしたい	対立点	教科書と関係ないことはしないでほしい	悲しい、苦しい、さみしい	気持ち	緊張、心配、イライラ	理解してほしい、認めてほしい	ニーズ	理解してほしい、認めてほしい、尊重してほしい、失敗したくない	Aさんが理解され、Bさんが安心するために	再定義	Bさんが理解され、Aさんの意図が理解される	Aさんの授業をみんなに見てもらおう、生徒に聞く、Bさんの授業と融合する、お互いに対話する	解決策	Bさんのプレッシャーを共有する、		
A 教師		B 教師																				
英語圏以外文化の授業をしたい	対立点	教科書と関係ないことはしないでほしい																				
悲しい、苦しい、さみしい	気持ち	緊張、心配、イライラ																				
理解してほしい、認めてほしい	ニーズ	理解してほしい、認めてほしい、尊重してほしい、失敗したくない																				
Aさんが理解され、Bさんが安心するために	再定義	Bさんが理解され、Aさんの意図が理解される																				
Aさんの授業をみんなに見てもらおう、生徒に聞く、Bさんの授業と融合する、お互いに対話する	解決策	Bさんのプレッシャーを共有する、																				
		・役割を離れて感想を言う。 ・全体で気持ちやニーズを確認する。 ・再定義、解決策を考える。																				
		4) ふりかえり (10分) ロールプレイをして、気づいたことを話す																				
12:20	Ⅳ. 自分の問題の分析(40分)	1) 自分の問題・対立の分析シートを埋める																				
13:00	休憩 (60分)	※昼休みに、中庭で、葉っぱや石を拾ってきてもらう。																				
14:00	Ⅳ. 自分の問題分析 (続き) (60分)	1) 自分自身の対立の分析をグループで共有する 2) 聞いている人はアドバイスや評価はせずに、対立相手のニーズや気持ちを考える 3) 気づいたことを共有	分析シート																			

15:00	V. ふりかえり・質疑応答 (15分)	・学んだこと、気づいたことを振り返る(個人で書く) ・質疑応答		
15:15	VI. クロージング (45分)	1) 拾ってきた葉っぱや石ころをよく観察して、良いところを3つ考える 2) 3人組で共有 3) 今日持って帰って、さらに良いところを見つけて明日、発表してもらう。 4) 先ほどの振り返りシートを3人で共有 5) 全体共有 ・アンケート ・宿題:		玉城
16:00		終了		

## 2日目

- ・自分について知る・他者について知る
- ・自分の問題を分析する
- ・傾聴(全身で聴く、パラフレーズ)をして相手の気持ちやニーズを確認する
- ・質問をして相手の話を深く理解する
- ・自分は大切な存在で自分のことは自分で決めることができる、と意識する。

## ■流れ案

## 2日目

時間	アクティビティ	内容	備品	備考
10:00	開会式	・JICA 課長あいさつ ・2日間の流れ説明		
10:10	I. オープニング・自己紹介 (30分)	1) 4~5人グループになる 2) 今日の流れの確認 3) 昨日の振り返り 4) 約束の確認・追加など(みんなが安心して参加するためのルール)	マジック、A3用紙	
10:40	II. 私を見る4つの窓 (60分)	1) A4用紙を配る 2) 4つの窓をつくる。 3) ①私は で始まる文章を10個書いてもらう ・周りの人5人と自己紹介をする ・気づいたことを共有する (所属、〇〇が好き、今の気持ち、など様々なことを書く人がいる) ・文章の中で過去も現在も未来も変わらないものはあるか、環境や時間が変わると変わるものか? ・これは自分をどうとらえているかの窓である。 4) 自分が親しいと思う人の名前をアルファベットでよいので書く。 常に会う人でも、遠いけどころはつながっ	A4用紙、模造紙、付箋紙、マジック	

		<p>ている人でも、よい。</p> <p>&lt;問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その中に、外国人はいるか？障害者はいるか？</li> <li>・いざとなった時に助けてくれる人はいるか？</li> <li>・自分を頼ってくれる人はいるか？</li> <li>・自分がどのように人間関係を作っているかの窓。</li> <li>・今までの関係を大切にしながら、より関係を広げていくこともできる。</li> </ul> <p>5) 昨年 1 年でできるようになったことを書く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなことでもよい。</li> </ul> <p>自分は常に変わっていくこと。また 1 年後に見ると面白い。</p> <p>6) 表彰状</p> <p>自分の好きなところ、よいところ、誰にも見せないの、そこに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の良いところを自分で認める窓。</li> </ul> <p>7) 昨日拾って食ってくれた葉っぱや石ころの新たに見つけた良いところを共有</p> <p>8) やってみた感想共有</p> <p>9) 自分自身をふりかえり認めること</p>		
11:40	Ⅲ. 三者リスニング (80 分)	<p>1) 3 人組になる</p> <p>2) 三者リスニングの説明</p> <p>3) 開発教育に取り組むうえでの悩み(話せる範囲で)について 1 人が話し、1 人が傾聴、一人が観察する。</p> <p>20 分×3 回</p> <p>4) 全体で気づいたことを共有</p> <p>5) 傾聴の意味を説明</p>	ロールカード	
13:00	休憩 (60 分)			
14:00	Ⅳ. 自分が開発教育に取り組む理由 (60 分)	<p>1) 進め方の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の話を深める質問をする。</li> </ul> <p>2) 一人が「開発教育に取り組む理由」を話し、相手の話を深めるための質問をする。</p> <p>15 分×3 回</p> <p>3) 全体で感想を共有</p>	分析シート	
15:00	Ⅴ. ふりかえり・質疑応答 (15 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと、気づいたことを振り返る(個人で書く)</li> <li>・質疑応答</li> </ul>		
15:15	Ⅵ. クロージング (45 分)	<p>1) 先ほど書いた振り返りシートを使って、3 人組で共有</p> <p>2) 全体でひとこと共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート</li> <li>・宿題：</li> </ul>		
16:00		終了		

## 県立総合教育センター 長期研修(後期)「国際理解教育」プログラム

■日時：令和2（2020）年●月●日（ ）9：30～16：00

■場所：JICA 沖縄 多目的室

■対象：令和2（2020）年度長期研修員 23 名

### ■プログラム

時間	内 容
9:45-10:00 (15分)	1.【開講式】 ○JICA 沖縄課長よりあいさつ ○本日の流れ説明
10:00～12:00 (110分)	2.【講義・ワークショップ】沖縄×国際理解教育の在り方を考える ○なぜ、国際理解教育が求められているかを考察する。 ○SDGs についての理解を深め、学校教育における活用を考える。 ○「沖縄21世紀ビジョン」×SDGs を通して、沖縄県における国際協力・国際理解教育の位置づけについて考察する。
12:00～13:00 (60分)	3.【昼食】 ○メニューは指定されたランチプレートとなっています。 ○ソーシャル・ディスタンスに留意しておいしい食事を堪能して下さい。
13:00～14:30 (90分)	4.【ワークショップ】国際理解を深めるⅠ ※体験教材『パーム油のはなし～地球にやさしいってなんだろう～』 ○国際理解教育の視点に立ったアイスブレイキングの方法を知る ○世界で起こっている課題と自分とのつながりを考える
14:40-15:30 (50分)	5.【ワークショップ】国際理解を深めるⅡ ※体験教材（『ウムヨム村のブタの一生』予定） ○命をテーマに国際理解教育を考える。
15:35～15:50 (15分)	6.【ふりかえり】 ○質疑応答、感想・アンケートの記入
15:55～16:00 (5分)	7.【閉講式】 ○JICA 沖縄課長よりあいさつ（予定）